

## 令和7年度緊急消防援助隊中国・四国ブロック合同訓練について

### 1 開催日時

令和7年10月下旬から11月上旬のうち、土日の2日間  
(土曜日8時30分から日曜日12時まで)

※消防庁より、開催日の希望調査が令和6年6月頃があり、同年10月頃に開催日の決定がなされます。

### 2 緊急消防援助隊とは

緊急消防援助隊は、大規模な災害が発生した際に、被災地の消防力を支援するために全国から参集する消防隊で、阪神・淡路大震災をきっかけに創設されました。

平成23年に発生した東日本大震災では鳥取県の緊急消防援助隊も出動し、全国から8,854隊、30,684人の消防職員が出動しました。



熊本地震 (H28) : 東部消防局撮影

### 3 ブロック合同訓練とは

ブロック合同訓練は、火災、地震、津波などの大規模な災害を想定したシナリオに基づいて、緊急消防援助隊がどのように連携して活動するかを学びます。

全国を6つのブロックに分け、鳥取県は中国・四国ブロックに属します。

中国四国の9県で訓練を持ち回りで担当し、令和7年が鳥取県の担当になり、鳥取県東部地区を主会場として計画をしています。

### 4 訓練規模

中国四国9県と近隣県(兵庫県)の緊急消防援助隊が鳥取県に参集し、消防機関だけで150隊600名程度の部隊が訓練に参加します。さらに、航空隊、自衛隊、警察、海上保安庁、医療機関等も訓練に参加するため、鳥取県内で開催される災害対応訓練としては、過去最大規模の訓練となります。

### 5 主催

総務省消防庁、中国四国9県、消防機関



令和4年度ブロック訓練の様子(徳島県): 東部消防局

**東部地区  
訓練候補地**



**宿営会場：ヤマタスポーツパーク**



**主会場：リンピアいなば、周辺工業用地**

